

ごみ減量化プロジェクトの経過報告

王寺町では、ごみ焼却時のCO₂排出量を削減するため、令和3年度より「ごみ減量化プロジェクト」を始動し、家庭から出る可燃ごみの1人1日当たりの量について、令和元年度の570gから▲100g（近隣1市8町の平均値470g）の達成をめざしています。

主な取組として、雑がみ保管袋の全戸配布（令和3年11月・令和6年9月）や町内4か所の資源ごみ回収ステーション設置（令和4年4月）により資源ごみ収集量の増加を図り、可燃ごみの減量化をめざしています。

1. 目標

可燃ごみ(1人1日あたり) ▲100g [570g(R1実績) ⇒ 470g(R10目標)]

2. 現在のごみの量

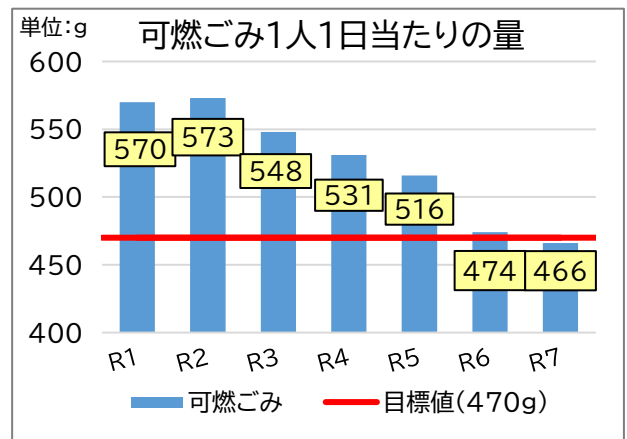
可燃ごみ(1人1日あたり)の量（令和7年3月末時点）
466g [令和元年度570gから約▲104g]

令和6年度実績は、令和元年度の570gから約▲104gとなっており、目標値を達成。

<家庭系可燃ごみ>

令和元年度 5,022t→令和7年度 4,014t (▲1,008t▲20%)

※令和6年度 4,098t



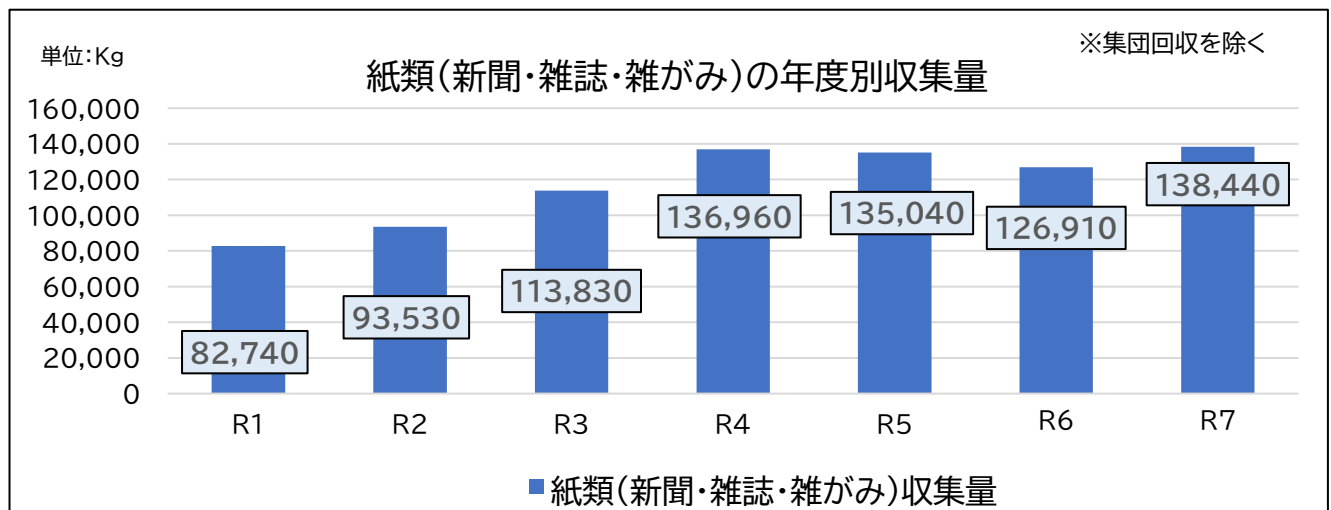
3. 雑がみ回収袋・資源ごみ回収ステーションの効果

紙類（新聞・雑誌・雑がみ）の収集量における令和7年度実績は、取組開始（雑がみ回収袋の配布）の令和3年度実績と比較して **21.6%増加** ➡ 可燃ごみの減少



リサイクルマーク

※雑がみ…新聞・雑誌・ダンボール・紙パック以外のリサイクル可能な紙



4. 令和8年度の取組み

(1) 資源ごみ回収ステーションの周知徹底及び利便性向上

○いつでも資源ごみを出せる「**資源ごみ回収ステーション**」4カ所の周知徹底

【設置場所】旧中央公民館前、いずみスクエア、文化福祉センター横、清掃事務所前

【利用可能時間】 8:30～17:15（閉鎖日：年末年始、設置場所の休館日）

【対象資源】「ダンボール」、「新聞・雑がみ類」、「ペットボトル」、「紙パック」、「白色トレイ」、「空きカン類」、「電池類」

【利用状況】 1,200kg～1,600kg/月（4か所）

うち、ダンボール 50%、雑誌・新聞 40%、ペットボトル、缶、トレイ、紙パック、電池類 10%
（土日、祝以外は、原則毎日見回りを実施）

(2) 義務教育学校での環境教育

- ・環境教育での雑がみ回収袋の配布
（義務教育学校4年生対象※約230名）



環境教育
（南義務教育学校）

(3) 広報・啓発等による効果促進

○広報紙への特集記事及び町公式サイトへの実績・効果の掲載等

(4) 再生資源集団回収助成金

○自治会や子ども会等が実施する集団回収の利用を促すため、王仲や自治会回覧板で啓発

○再生利用可能な一般廃棄物の**集団回収活動を自主的に行う団体に対し助成金を交付（1kgにつき5円）**

令和7年度 43団体登録（回収実績 338t）前年度より▲71t 助成金額 1,688,685 円

令和6年度 47 団体登録（回収実績 409t） 助成金額 2,045,315 円

令和5年度 48団体登録（回収実績 470t） 助成金額 2,350,000 円

令和4年度 52団体登録（回収実績 525t） 助成金額 2,625,000 円

令和3年度 51団体登録（回収実績 548t） 助成金額 2,740,000 円

令和2年度 52団体登録（回収実績 536t） 助成金額 2,680,000 円

令和元年度 52団体登録（回収実績 616t） 助成金額 3,080,000 円

